

宇摩向山古墳(四国中央市)

うまむかいやま

墳形は長方形墳で、その規模は周溝の外周を含めると東西70m、南北50mを測ると云う/これは東西70m面を見たところ/左手が西方向、右手は東方向/南側から見たところ

[video](#)



7世紀前半の築造/東(2号)西(1号)にそれぞれ横穴式石室があり、南側に開口している

 video

国史跡 宇摩向山古墳

平成 23 年 9 月 21 日 指定



宇摩向山古墳は金生川の東岸、丘陵の先端部に立地する四国最大の長方形墳と考えられる古墳であり、1つの墳丘に2基の横穴式石室が平行して築かれる特異な構造を有している。

現在墳丘は大きく改変を受けているが、平成 15 年から実施した発掘調査の結果、墳丘は東西に長い長方形であり、その外周に幅 5 m 前後の周濠が巡ることが明らかとなった。墳丘規模は東西 70 m、南北 46 m と推定され、四国最大にして全国でも最大級の長方形墳といえる。

横穴式石室はいずれも南に開口しており、西側の 1 号石室は全長 10.8 m、現在埋没状況にある 2 号石室は全長 14.3 m 以上であり、石室はともに四国最大級の規模を誇る。なお、石室から出土した遺物から 7 世紀前半の築造と考えられる。ただし、石室内において十分な調査が行われていないため、被葬者の性格等は不明である。

この古墳を最後に、宇摩地域において大規模な古墳は造られなくなり、いわば宇摩向山古墳は最後にして最大の古墳である。

所在：愛媛県四国中央市金生町下分
時期：古墳時代終末期（7世紀前半）
墳形：長方形墳
墳丘規模：東西 70m（復元）×南北 46m
石室規模：〔1号石室〕全長 10.8 m
〔2号石室〕全長 14.3 m 以上



左手(西側)から墳丘に登り、1号石室～2号石室と見てみよう

[video](#)



前方に1号石室が開口しており、標柱が立っているのが見える

 [video](#)



1号石室



羨道～玄室を見たところ/両袖型の横穴式古墳



玄室/奥壁の巨石が見える



中央構造線外帯(南側)で産出する結晶片岩が使用されていると云う





こちらが東側にある2号石室/これは天井石で石室内は埋没してしまっている

[video](#)



右上から見たところ

[video](#)



墳頂で、西側から東方向を見たところ

[video](#)



墳丘の中央辺りに進み、西方向を見たところ/2号石室の天井石が見える



そこで、南方向を見たところ



同じく、西方向を見たところ



同じく、北方向を見たところ

[video](#)



参考ホームページ

<http://bunka.shikokuchuo.or.jp/mky/mky-6.htm>

<https://kofun.info/kofun/347>

<https://bunka.nii.ac.jp/heritages/detail/240393>

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%AE%87%E6%91%A9%E5%90%91%E5%B1%B1%E5%8F%A4%E5%A2%B3>

<https://rubese.net/gurucomi001/?id=664099>

